

長期戦略:テーマ 「高度職業人の養成」

提出日 2019年 8月 28日

担当部署

II.実施計画帳票

長期戦略テーマの責任者 (統轄部署)	小菅副学長(総括) (学長室大学院課)	実施計画の 担当部署	総合企画部
-----------------------	------------------------	---------------	-------

1. 実施計画

実施計画(タイトル)	取組開始	達成状況 確認年度	学部・研究科での 取組み有/無	帳票
2-(4)-① 経済団体等とのチューニング・プロジェクトの立ち上げ・検討実施	(2019)年度	(2021)年度	必要なし	不要
内容				
<p>文系における大学院で育成する「高度職業人」への需要は、知識基盤社会の進展や、人口減少による生産性向上の必要性、修士・博士学位が重視される海外でのビジネスの増加等に伴って拡大することが予測されるものの、現状では産業界の要望と大学の人材育成の方針が一致しておらずミスマッチが起きている。このため、欧州で進められている、産業界と大学界で人材像や「求められる資質」を調整する「チューニング・プロジェクト」に経済団体等と協力して取り組み、企業との連携を深める中で新たな市場を開拓する。最終的には、新たな文系修士プログラムの創設をめざすが、当面の3年間については、「チューニング・プロジェクト」の導入検討・立上げを主眼とする。</p>				
進捗状況を測る指標	指標名	定義・算式		
指標1	構想案策定の有無	経済団体等との「チューニング・プロジェクト」に関する構想案策定の有無		
指標2				
指標3				

目標1<指標1>構想案策定の有無

	(2019)年度	(2020)年度	(2021)年度	4年目以降
目標	—	—	構想案の策定	—
実績				

目標2<指標2>

	(2019)年度	(2020)年度	(2021)年度	4年目以降
目標				
実績				

目標3<指標3>

	(2019)年度	(2020)年度	(2021)年度	4年目以降
目標				
実績				

2. ロードマップ

		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
経済団体等との チューニング・プ ロジェクトの検討・ 実施	策定段階	検討	検討	構想案の策定	学内調整	実施
	2020年3月 末段階	—	—	—		
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	—
	策定段階	実施・見直し	実施・見直し	実施・見直し	実施・見直し	
	2020年3月 末段階					
		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	策定段階					
	2020年3月 末段階					
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	—
	策定段階					
	2020年3月 末段階					

3. 費用計画・人員計画

【費用・人員を必要とする理由】				
非公開				
経費 単位:万円	(2021)年度	(2022)年度	(2023)年度	4年目以降
非公開				
人員・人件費 単位:万円	(2021)年度	(2022)年度	(2023)年度	4年目以降
非公開				

4. 進捗状況・得られた成果

()年度	
()年度	
()年度	

5. 今後の課題及び方向性

(2020)年度	「チューニング・プロジェクト」の立ち上げをめざし、関西生産性本部との懇談・検討（共同研究含む）を進める。
(2021)年度	
(2022)年度	

6. 学院総合企画会議の基本方針

2019 年度	—
2020 年度	
() 年度	